

GCsolution Ver.2.21 の機能紹介

Introduction of GCsolution Ver.2.21

GCワークステーションソフトウェア「GCsolution」が、お客様から頂戴した様々なご意見を取り入れ、Ver.2.21に

バージョンアップされました。本アプリケーションニュースでは、これら機能や操作性についてご紹介致します。

T.Kato

アップデートについて

Update

GCsolution Ver.2.21は Ver.1.0以降の全てのバージョンからアップデートしていただけます。アップデートファイルのご案内は、製品登録カードをご返送いただいている方へCLASS-mates 郵送によりお届けいたしました。

【ご注意】 Ver.2.21で解析して保存されたデータは、旧バージョンでは読むことが出来なくなります。GCsolutionのバージョンが混在する場合はご注意ください。

またPart11対応システムのバージョンアップを行う場合は、システムの再バリデーションや変更管理が必要となりますので、実施時期等については、弊社営業と事前にご相談いただきますようお願い致します。

手動波形処理 (マニピュレーション) 機能の強化

Manual Peak Integration

旧バージョンの「データ専用波形処理タイムプログラム」ボタンを廃止し、「手動波形処理」ボタンとしました。画面上マウス操作で設定することができます。データ解析画面だけでなく、[GC分析]-検量線画面でも使用できます。

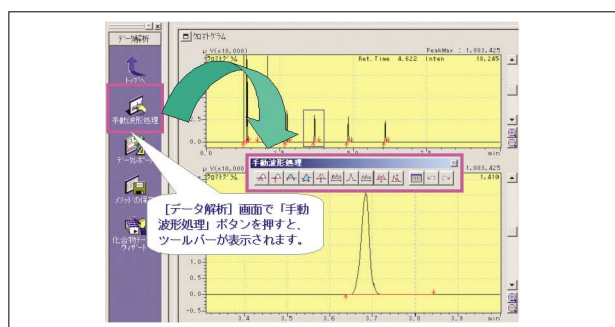


Fig.2 手動波形処理 (マニピュレーション) 機能2
Manual Peak Integration 2

データ処理機能の強化

Improvement of Data Processing

- 1) [GC分析]画面に検量線画面を組み込み、分析画面で検量線作成が可能になりました。
- 2) [GC分析]画面で、パッチ再解析が行えるようになりました。
- 3) パッチテーブルに挟み込み定量機能を追加し、パッチテーブルウィザードも対応しています。

etc .

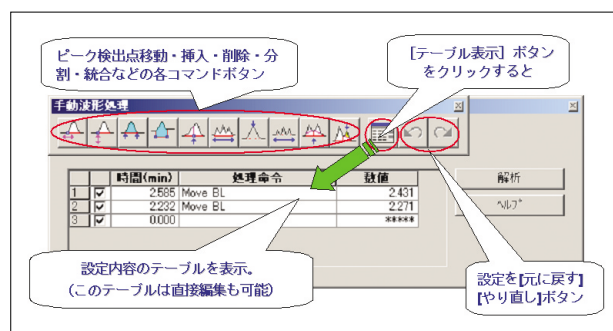


Fig.1 手動波形処理 (マニピュレーション) 機能1
Manual Peak Integration 1

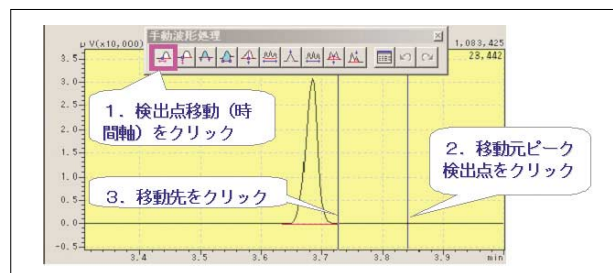


Fig.3 手動波形処理(マニピュレーション)機能3 - 検出点移動 (時間軸)
Manual Peak Integration 3 Move BL

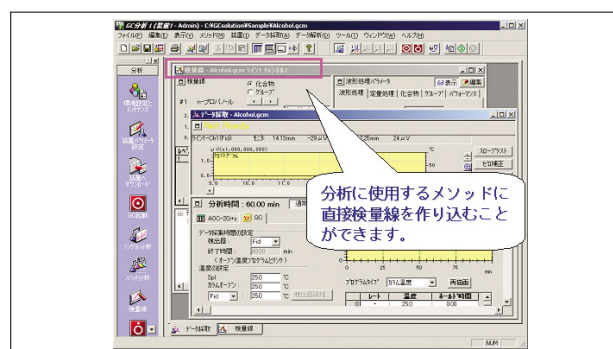


Fig.4 [GC分析]- 検量線 画面
[GC Real Time Analysis]-<Calibration Curve>

操作性の改良

Improvement of Operation Procedure

- 1) 分析や再解析操作の流れを再検討して、アシスタントパーとツールバー構成を改善しました。
 - 2) 装置パラメータ編集画面に「通常」「詳細」表示切替ボタン等が追加されました。「通常」表示では、普段よく変更するパラメータを集めて表示します。
- etc .

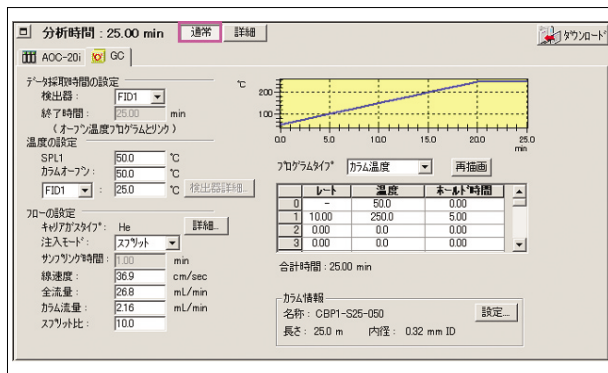


Fig.5 [装置パラメータ]-「通常」画面
[Instrument Parameters]-[Normal]

追加された新機能

New Operating Functions

- 1) GC-17A/1700で昇温分析を行う際、キャリアガス線速度が分析中一定に保たれるような圧力プログラムを生成するキャリアガス定線速度モード（圧力プログラム）計算機能を搭載しました。
 - 2) GC-2010/17A/1700/14およびAOC-20iのメンテナンス手順を、写真入りで詳しく解説したメンテナンスガイドを搭載しました。メンテナンスガイドは、GCsolutionをお持ちでない方でもWindowsPC（Win95以上）があれば、ご利用頂けます。詳しくは、弊社営業・代理店までお問い合わせ下さい。
 - 3) [GC再解析]画面で、ピークテーブルや化合物テーブルで選択されたピーク上にピーク位置確認線（縦線）が表示されるようになりました。また化合物テーブルの保持時間をクロマトグラム上でのマウスクリックのみで設定することも可能です。
- etc .



Fig.6 メンテナンスガイド
Maintenance Guide

レポート機能の強化

Improvement of Report

- 1) 複数データに渡るサマリーレポート機能を追加し、バッチテーブルと連携してサマリー結果が印刷できるようになりました。
 - 2) 定量結果テーブルに<化合物>アイテムを追加し、同定されたピークのための定量計算結果を表示できるようになりました。
 - 3) デフォルトのレポートフォーマットを設定可能としたことで、シングル分析やバッチ分析において、フォーマット指定なし（レポート出力をチェック）で印刷可能になりました。
- etc .

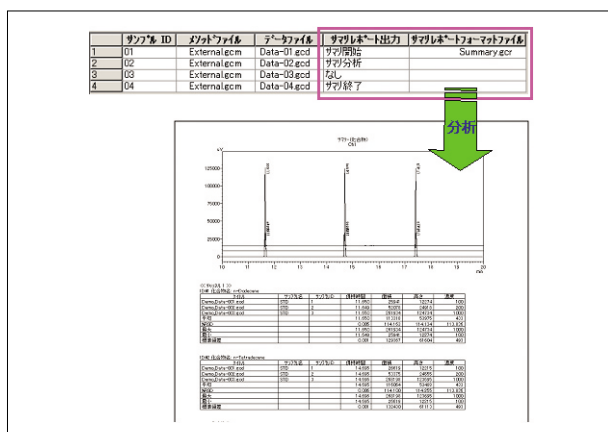


Fig.7 サマリーレポート設定と印刷例
Summary Report

その他

Others

- 1) オプションソフトでサポートしていたPart11対応機能を標準搭載しました。
- 2) 化合物テーブル設定のための化合物テーブルウィザード

ド が追加されました。
他にも様々な機能の追加や操作性の改良が行われていますので、是非アップデートしてご使用下さい。